

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2017/12/18 (月) 発行

校長通信 NO10
北海道日高高等学校
町田英謙

平成29年の終了にあたり

陸別町ではマイナス20度を超える便りが届きました。全道的にも日高町にとっても本格的な冬の季節が到来して毎日凍えるような寒さです。しかし、本校は活発な生徒活動、情熱を持った教職員の支えもあり、充実した学校生活を送っております。さて、平成29年の生徒登校日も残り僅かですが、今年度私も歴史と伝統ある日高高校へ転入し、教職員や生徒と共に学校生活を送ってきましたが、特に32名の全校生徒は、雄大な自然と澄んだ空気に包まれた学校環境で、本校の教育目標である「自律する人間」「共創する人間」「錬磨する人間」を掲げて、授業や学校行事、部活動や地域行事等で、教職員、産学職員、地域の皆様のおかげで強く、大きく成長したと思います。

平成30年は大きな節目の年でもあります。そのひとつが、北海道として命名されてから150年目を迎え、道民にとって大きなイベントとなります。もうひとつが、本校の創立70周年の記念の年であることです。私はこの記念の年に本校で勤務できることの喜びを感じており、現在の教育活動がさらに飛躍できるよう、今後も町教委との連携・協働を実践し、日高町が誇る定時制教育、社会教育との融合を発展させて、地域の活性化とコミュニティ・スクールの導入の意義を踏まえた学校経営を図っていききたいと思います。そのためには、教職員や町教委、地域住民のご支援とご協力が必須になりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

コミュニティ・スクールの導入に向けて

国の地方創生に関わる考えから、この4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成27年12月の中央教育審議会答申で示された「全ての公立学校が地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとしてコミュニティ・スクールを目指すべき」との方向性が、学校運営協議会の設置の努力義務化という形で具現化されました。

これは次期学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を踏まえたものであり、「どうやって導入するのか。どのように充実させ機能的にさせるか。」という課題に対し、全国的に関心が高まっています。

他府県でコミュニティ・スクールの導入をした校長からは「学校と地域が目標とビジョンを共有し、これまで以上に協働して取り組んでいく推進力に、今までにない手応えを感じた」とおっしゃいます。地域と学校が互いに手を取り合い、学力向上や生徒指導だけでなく、町づくりまで視野に入れた協働を進めることは、子どもたちの豊かな社会体験や健やかな育ちに繋がるだけでなく、地域が直面する課題の克服や地域の活性化にも非常に有効なものであり、コミュニティ・スクールは「町づくりの原動力」と言えます。

本校は平成28年度に日高町の全地域での導入に向けた教育長からの働き掛けがあり、この日高地区においても平成30年より実施することとなりました。

私は4月赴任した引き継ぎに従い、次年度実施に向けた実施案を今回の職員会議において提示し、教職員の承認を受け、町教委との調整を図っていきたく考えます。

幸いなのは、本校は産業教育制度と協働した三修制によって社会教育と学校教育との融合をおこなって教育活動を実践している町立の定時制高校ですから、従来の社会教育活動を目に見える形で整理して、学校運営協会への提案をしていけば良い部分です。

今までの諸先輩の方々が創り上げてきた内容を精査しながら、今後の教育活動を実践していく上で有益な内容を推進し、地域と協働して活性化を図ることを目的とすることです。

この校長通信がスタートにあたってのスローガンである「地域とともにある学校」についても、この理念を考えて設定させていただきました。

<具現化>

I 校訓

樹の如く伸びよ！ 星の如く輝け！

II 学校教育目標

自立する人間 共創する人間 錬磨する人間

校訓は開校当初より設定され、日高町民憲章との理念の繋がりがあります。

また、学校教育目標においては、平成20年に60周年を迎えた時期に考えられたものです。

この目指す学校像を考え、教育活動を実践していくこととなりますが、来年度に創立70周年を迎える本校は今年度、全教職員が現状のままか、改訂するかを考えていかなければならない時期です。理念を変えることはないと思いますが、文言の変更が必要を感じる場合がある場合は、教頭へもしくは校長へ具申してください。

これを基に次の内容を確認していく必要があります。

III 観点

1 教育課程の管理

(特に編成・実施・評価)

2 校内組織の活性化

(特に職員の協働意識、危機管理体制等)

3 教職員の意識改革と資質能力の向上

(特に研修、評価、公務員倫理等)

4 学校評価等の活用

(特に公開と説明責任等)

5 地域等との連携

(特に小中高連携、地域活動等)

以上の5点が「学校経営方針・重点事項等」となります。形式は現在、全校公立高等学校は統一となっています。

年度当初に校長から全教職員に提示により、その内容をもとに学校職員人事評価シートの作成と前後期に自己評価と管理職による全体評価がされます。

以上の内容について2月の職員会議までの期間で教職員の皆様と意見交流しながら決定していきたいと考えます。

なお、次年度当初から実施に向け、すでに素案は別添の資料の通り完成していますが、ご高閲いただきご意見・ご要望等を伺いたいと思います。ご協力をお願い致します。

冬休み明けに向けて

12月22日(金)から、24日間の冬休みとなります。本校の在籍している殆どの生徒は全国・全道各地へと帰省して新しい年を迎えることとなります。各担任の先生からは十二分にご指導されていると思いますが、事故や怪我が無いようにご指導をお願いします。また、何かあった場合の連絡徹底をよろしくお願い致します。教職員皆様におかれましても学校教育活動に全力を注いで年齢に関係なく疲労していると思います。また、年明けは入学者選抜業務も始まり、緊張した日々が続きますので、この期間を通じて心も身体もしっかりリフレッシュして新しい学期に向けた鋭気を養って欲しいと思います。暴飲暴食のない年末と清々しい新年を迎えさせていただきますよう宜しくお願い致します。では『良い年を迎えてください！』